

第 18 回群馬県支部総会・20 周年記念講演会・懇親会報告

群馬県支部長 深澤 恵子(昭 56・化学)

令和 6 年 7 月 6 日 (土) 高崎アーバンホテルにて第 18 回群馬県支部総会・20 周年記念講演会・懇親会を開催しました。当日は鶴風会より伊藤展枝理事長、吉田茂雄理事をはじめ、代議員の方々や他支部の方々にご出席いただき、支部会員 15 名と共に総勢 31 名で 20 周年にふさわしい賑やかな会となりました。

伊藤理事長に 20 周年のご祝辞をいただいた後、まず規約に則り総会の成立を報告し、任期満了現役員の再選、令和 5 年度の活動報告・決算報告・監査報告をし、続いて令和 6 年度の活動計画・予算について説明し、すべて会場・委任状共に賛成多数で可決承認されました。

続いて理学部鶴風会の法人化による支部規約の改訂についてです。昨夏より約 1 年かけて支部役員の間で新しい規約について検討を重ねました。不都合な項目を削除し、支部会員の定義を見直し、役員の手順を実情に合うようにしたのが主な変更点です。会場と委任状により可決され、東邦大学理学部鶴風会群馬県支部規約としてこの日より施行されました。



次に今年度予定している群馬自然探索会下仁田ジオパークについて、下見の様子を説明しました。今秋の実施を目指しております。

群馬県支部は設立 20 周年を迎え、満を持して設立時の支部長原秀介氏(昭 40 年生物科卒)より「群馬県支部 20 年・・・」との演題で講演いたしました。在住者の集い・設立集会、群馬県支部を一緒に立ち上げてくださった方々がたくさんいらして下さり、初回から毎回参加されている支部会員もいらっしゃいます。そんな皆さんと 3 度の宿泊



総会を含め、そしてコロナ禍で中止もあり今回は 18 回目の支部総会・講演会です。20 年前からの写真を映しながらその時々エピソードを交え、お話はどんどん膨らんでいきました。支部の歴史・原秀介前支部長に歴史あり、印象的でしたとの感想もいただきました。

懇親会の初めに、支部設立にご尽力くださった方の中から加藤様にご祝辞をいただき、同じく進藤様に乾杯のご発声をお願いしました。こちらも支部の歴史を感じる温かいお

話でした。そして吉田理事を皮切りに恒例の近況報告会。飲み放題のお酒も入りどんどんボルテージは上がってきます。ピークは支部会員太原さんの鴻志寮エレジーでしょうか。七夕のように年に1回しか再会できない人もいるし、だからこそこの会を大切に思ってくださいの方が大勢いらっしゃると思います。私たちはそんな支部の灯を消さないように、20周年を記念して皆さんにミニライトをお配りいたしました。

最後に東邦大学校歌を歌い、恒例福を呼ぶ手締めでお開きとなりました。

